

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

経営理念・長期ビジョン

変革・創造・挑戦により、お客様・従業員・投資家から選ばれるホテルオペレーターのTopTierを目指す

売上高
490億円

営業利益
37億円

運営ホテル数
100店舗

運営客室数
15,000室

② 中長期の経営戦略

1. 運営プラットフォーム拡大

契約形態・ブランド・ホテルタイプ・出店エリアの柔軟な組み合わせで規模の経済を追求し、KOKO HOTEL等で収益性向上を実現

3. スターアジアとの連携

スターアジアグループ・スターアジア不動産投資法人との共同投資・物件売却により、運営プラットフォーム拡大と売却益実現を目指す

2. ホテル運営力強化

レベニューマネジメント専門チーム・セールス&マーケティング・ホテル運営の連携でチェーンメリットを活かし、人財最適化による人件費効率化を実施

4. ミナシア統合効果最大化

迅速なPMI実施で本社機能を集約し、ブランド統合・ロイヤルティプログラム整備によるシナジー創出を推進

③ 対処すべき課題

① ホテル運営（PMI）

- ・2024年12月のミナシア統合で87ホテル13,421室に拡大、迅速なPMI実施と統合効果最大化が急務
- ・ブランド認知度向上とセールス&マーケティング強化のため運営ホテルのブランド整理統合を検討
- ・コスト面でアメニティ・仕入単価・運営契約金額の条件交渉でスケールメリット最大化を継続

② 運営プラットフォーム拡大

- ・2027年3月期までに100ホテル15,000室達成に向け、新規案件の積極的な獲得が成長ドライバー
- ・従来のリミテッドサービスに加え、スモールラグジュアリー・アップスケール等多様なホテルタイプの新規案件獲得を推…

③ 財務基盤・株主還元強化

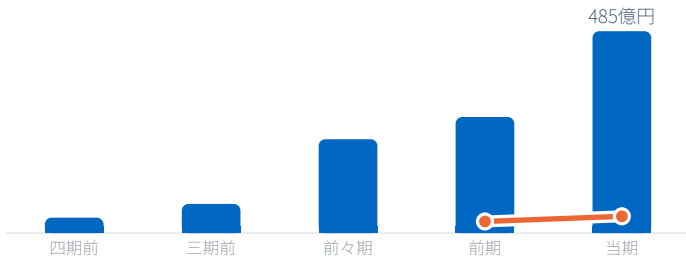
- ・ミナシア統合でシンジケートローン調達し、新規取引銀行含むバンクフォーメーション拡充を実現
- ・中期経営計画で連結配当性向30%を目標に、16期ぶりの配当実現と新株主優待制度で継続的な株主還元を実施
- ・既存借入れのリファイナンスで金利負担軽減と調達コスト最適化を推進

面接で使えるポイント

- ・2024年12月のミナシア統合で87ホテル13,421室へ急速拡大し…
- ・変革・創造・挑戦を経営理念に、お客様・従業員・投資家から選ばれるホテルオペレーターのTopTier実現を志向
- ・スターアジアグループとの連携とブランド統合により、規模の経済追求と運営力強化を両立する事業モデル

証券コード 3010

業績の推移（売上＝棒／営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
485億円

営業利益率
8.3%

財務健康度
47点 / 100点

将来性 晴れ時々曇り / 就活偏差値 44.0（当サイト算出の参考指標）

平均年収
408万円

サービス業内 499位/524社

平均年齢
37.8歳

サービス業内 287位/527社

平均勤続
2.6年

サービス業内 485位/527社

女性管理職
15.6%

サービス業内 220位/371社

男性育休
50.0%

サービス業内 232位/311社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: ポラリス・ホールディングス、KOKO HOTELSの運営基盤

